

社会福祉法人鈴鹿市社会福祉協議会と  
一般社団法人鈴鹿青年会議所との  
災害発生時における相互協力に関する協定書

令和4年3月11日

社会福祉法人鈴鹿市社会福祉協議会

一般社団法人鈴鹿青年会議所

社会福祉法人鈴鹿市社会福祉協議会と  
一般社団法人鈴鹿青年会議所との  
災害発生時における相互協力に関する協定書

社会福祉法人鈴鹿市社会福祉協議会（以下「甲」という。）と一般社団法人鈴鹿青年会議所（以下「乙」という。）は、鈴鹿市内において地震、風水害等における大規模な災害が発生した時（以下「災害発生時」という。）における相互協力に関し、次の通り協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、鈴鹿市内において災害発生時に、迅速かつ効率的に被災者に対する支援活動を行うことができるよう、甲と乙が相互に連携、協力することで被災者等の生活安定に寄与することを目的とする。

（協力要請）

第2条 この協定に定める災害発生時の協力要請は原則として、甲が鈴鹿市災害ボランティアセンターを設置し、乙に要請を行ったときをもって発動する。

（協力内容）

第3条 甲は乙と協議し、双方の組織と機能、専門的スキルを最大限に活用し、次に掲げる事項について相互に連携し、協力するものとする。

- （1）被災住民のボランティアニーズの収集、集約
- （2）資機材、救援物資等の調達および仕分け輸送
- （3）必要に応じた人的支援
- （4）前各号に掲げるものの他、甲乙が協議し定める活動

2 前各号に掲げる業務の細目に関し、別記様式第1号により、毎年4月末までに甲へ提出するものとする。

（費用負担）

第4条 第3条各号に規定する業務に関し、必要な費用負担は、甲乙協議の上、決定するものとする。

（負傷および事故の補償）

第5条 支援活動に参加したボランティアの負傷またはボランティアによる事故については、ボランティア自身が加入するボランティア活動保険の補償によるものとする。

(平常時における体制整備)

第6条 甲および乙は、平常時から、第3条各号に規定する業務について備えるとともに、関係機関および関係団体との間にネットワークを整備しておくものとする。

2 平常時には年1回以上の相互情報交換会議を実施する。

3 平常時には年1回以上の相互訓練を実施する。

(個人情報の取扱い)

第7条 甲および乙は、本協定の遂行に発生する個人情報の取扱いについては、甲および乙の個人情報保護規程に基づき適切に管理するものとする。

(有効期間)

第8条 この協定は、締結の日からその効力を有するものとし、甲又は乙からの文書による終了の意思表示がない限り、その効力を継続するものとする。

(その他)

第9条 この協定に定めのない事項および協定に関して疑義が生じたときは、その都度、甲乙が協議して定めるものとする。

この協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙記名捺印の上、各自その1通を保有するものとする。

甲 住 所 鈴鹿市神戸地子町383-1  
名 称 社会福祉法人 鈴鹿市社会福祉協議会

代表者 会 長

乙 住 所 鈴鹿市末広東6-26  
名 称 一般社団法人 鈴鹿青年会議所

代表者 理事長